

## ステークホルダーとのコミュニケーション

当グループは、経営理念（ミッション）にてお客さま、社会、株主、社員をステークホルダーに掲げ、透明性の高い適時適切な会社情報の開示に努めるとともに、それぞれのステークホルダーと積極的なコミュニケーションを行っています。本ページでは、「社会」および「株主・投資家」とのコミュニケーションの一部を紹介します。なお、「お客さま」とのコミュニケーションについてはP.78を、「社員」とのコミュニケーションについてはP.48をご覧ください。



### 1 社会（コミュニティ）とのコミュニケーション

当グループでは、それぞれの地域ニーズを踏まえ、地域コミュニティと連携した活動やイベントなどに取り組んでいます。

例えば三井住友信託銀行のニューヨーク支店では、ニューヨーク市で問題となっているホームレスの救済活動の一環として、生活必需品のリックサック詰めを行い、非営利団体に3,000個を寄付しました。その後、寄付先のNPO団体をオフィスに招き、ホームレスの現状や、企業や個人がどのように彼らをサポートできるかなど、ホームレス問題への理解を深めました。

また、地元の非営利団体と協力し、地域のコミュニティガーデン（All People's Garden）を整備（ツタの除去や清掃、植樹など）する活動を行いました。20人以上の社員が参加し、短期間で公園が生まれ変わる感動的な場面に立ち会いました。

今後もさまざまな形でコミュニティに関わっていきます。当グループの各種活動についてはサステナビリティレポート2022/2023をご覧ください。

<https://www.smth.jp/-/media/th/sustainability/report/2022/full/all.pdf>



ホームレス支援 リックサック詰めの様子



コミュニティガーデンの整備  
（左：地元非営利団体代表者とニューヨーク支店参加メンバー、右：植樹の様子）



## 2 株主・投資家とのコミュニケーション

### (1) 個人投資家向け活動

個人投資家の方々に、当グループについて理解を深めていただけるよう、個人株主・投資家を対象とした説明会の開催や個人投資家専用のウェブサイトの開設、株主向け通信の発行などの情報発信に努めています。

2022年度は、個人株主・投資家向けの活動を積極的に行い、証券会社が主催する個人投資家向け説明会に10回参加し、延べ4,204名の方にご参加いただきました。また、雑誌、WEB媒体への広告や記事掲載等も含めた多面的なプロモーション活動を行うなど、当社の認知度向上に向けたさまざまな取り組みを行いました。

	説明会開催回数	説明会参加者数
2021年度	5回	932名
2022年度	10回	4,204名



説明会の参加者からは、株式購入を前向きに検討したいといった声もいただくようになりました。その結果、2023年3月末時点の個人株主比率は6.8%（自己株式除く）と前年同期比+0.5%増加しました。2023年度も、個人投資家とのコミュニケーションを積極的に行っていきます。

### (2) 機関投資家向け活動

国内外の機関投資家向けに、決算説明会およびIR DAYを開催しています。加えて、機関投資家・アナリスト向けのIR、株主である機関投資家向けSR（シェアホルダー・リレーションズ）のための個別面談を行っています。SRにおいては、機関投資家の議決権行使部署・ESG担当部署などと社長以下の関係役員、総務部・IR部・サステナビリティ推進部の部長等が対話を実施しています。

面談では、株主・機関投資家の関心が高いテーマを中心に、資金・資産・資本の好循環による成長と企業価値の向上、資本政策や価値創造の源泉となる人的資本投資の強化のほか、気候変動や政策保有株式の削減等について当社の取り組みの進捗や今後の方針を伝えるとともに、建設的な意見交換を行っています。

このような対話の機会を通じて、当社の考え方や取り組みを機関投資家にご理解いただくと同時に、コーポレートガバナンス体制やダイバーシティなどに関するさまざまな意見を頂戴し、当社として学びや気づきを得ています。いただいた意見は、取締役会等に定期的に報告のうえ業務運営の改善につなげており、2023年5月に公表した中期経営計画の策定の際にも参考としています。そのほか、取締役の専門性・経験を示すスキルマトリクスの開示において、機関投資

家からの意見を踏まえ、当社の重要課題（マテリアリティ）とスキルの関係性を明確化するなど、内容の充実にも活かしています。スキルマトリクスはP.64、65をご参照ください。

今後も、当社のビジネス戦略、コーポレートガバナンスやサステナビリティに関する取り組み等をより深くご理解いただけるよう、積極的なコミュニケーションを行っていきます。

#### ■ IR・SR活動（2022年度実績）

機関投資家・アナリスト向け説明会	2回
海外IR	6回
国内外機関投資家との個別面談（SR活動含む）	個別面談社数：269社 （うち海外投資家184社）
個人投資家向け説明会	10回 （社長、IR部が登壇）
IR DAY	2回 （事業担当役員、社外取締役が登壇）